

# 中小企業景況調査結果

2023年度 第Ⅱ期 (2023年7月～9月)	… 実績
2023年度 第Ⅲ期 (2023年10月～12月)	… 見通し

2023年10月



福島商工会議所

# 1. 調査要綱

## (1) 景況調査について

本調査は、福島商工会議所管内の景気動向を把握するために、会員事業所を通して四半期毎の景況をアンケートの方法によって調査し、集計値をDIで表示したものである。

※DIとは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値

## (2) 今回の調査対象期間

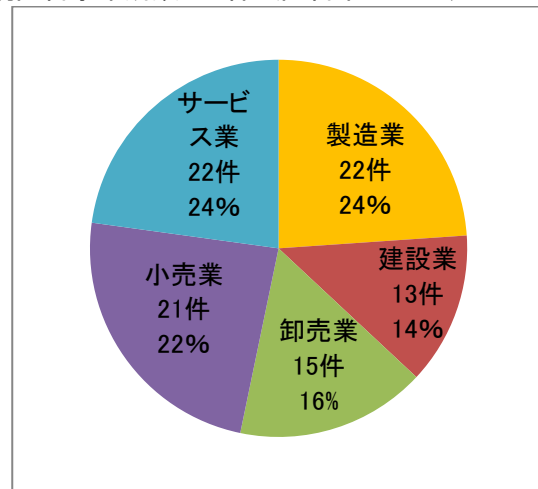
2023年度 第Ⅱ期 (2023年7月～9月) 調査期間8月22日～9月1日

第Ⅰ期			第Ⅱ期			第Ⅲ期			第Ⅳ期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
今回実績						来期見通し					

## (3) 調査件数

福島市内会員事業所 調査対象事業所数 104件 有効回答事業所数 93件 (回答率 89.4%)

業種	有効回答事業所数	割合
製造業	22件	23.7%
建設業	13件	14.0%
卸売業	15件	16.1%
小売業	21件	22.6%
サービス業	22件	23.7%
合計	93件	100.0%



## (4) 調査内容

調査項目	比較方法	比較期間
売上	(前期比)	前期(2023年4月～6月) ⇔ 今期(2023年7月～9月)
業況	(前期比)	前期(2023年4月～6月) ⇔ 今期(2023年7月～9月)
	(今期)	今期(2023年7月～9月)
採算	(前年同期比)	前年同期(2022年7月～9月) ⇔ 今期(2023年7月～9月)
設備投資	(実施した割合)	今期(2023年7月～9月)の実施有無と件数
従業員	(過剰・不足)	今期(2023年7月～9月)の過不足

## 2. 詳 細

### 景況感概要

今回の調査結果では、売上、業況、採算については、前期比業況を除き悪化した。来期予測についても業況、採算は悪化が見込まれる。

管内の設備投資については、前期比で2.9ポイント減少であるものの、来期予測はやや増加が見込まれる。

直面する経営の問題としては、全業種で、「原材料価格の上昇」や「仕入れ単価の上昇」が継続して上位課題となっているほか、多くの業種が、「従業員の確保難」を上位課題にあげており、依然として人手不足感が高い。小売業においては新たに「店舗の狭隘・老朽化」と並び「需要の停滞」が上位課題となるなど、厳しい状況にあることが窺われる。

(結果要約表)

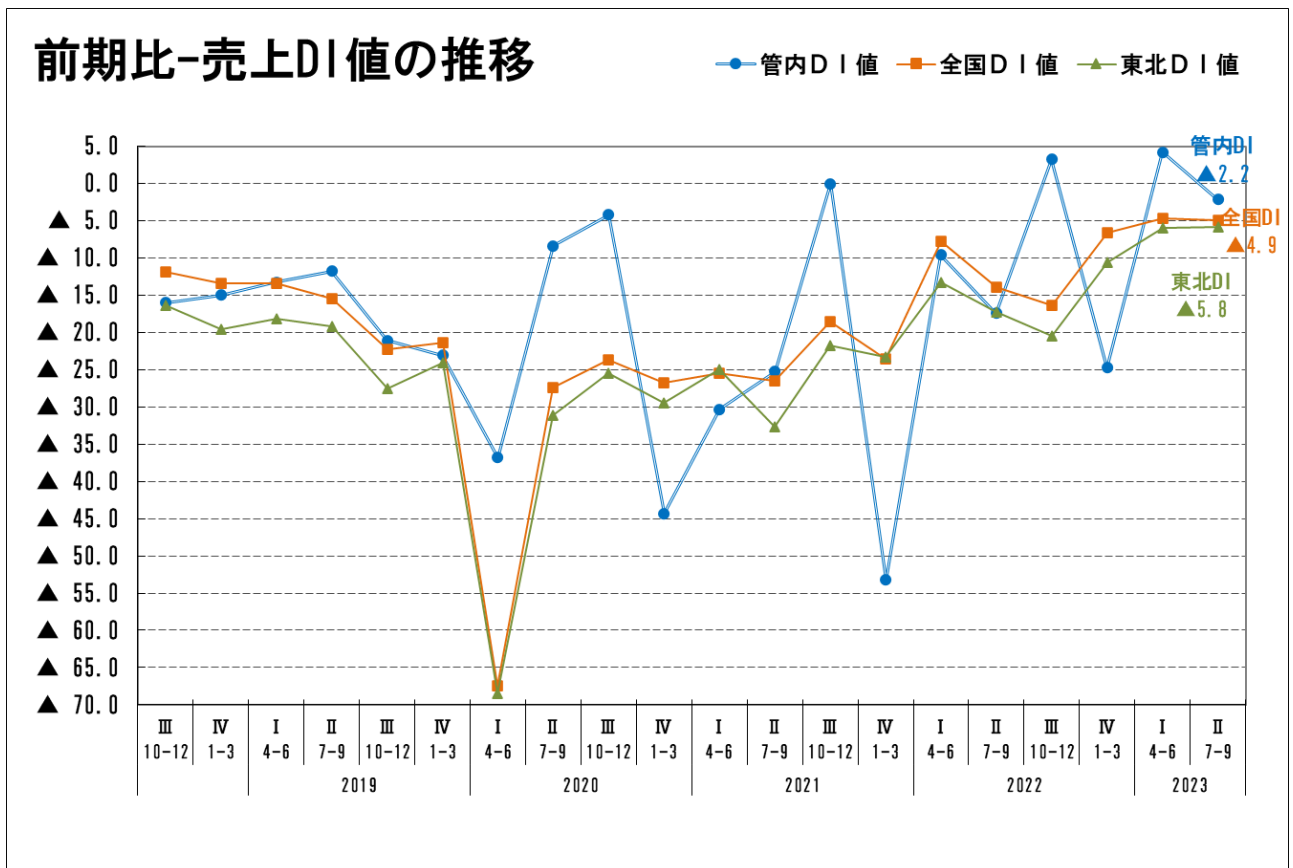
調査項目	比較方法	D I 値/割合 (前回D I 値) ※前回原数値	状況
売 上	(前期比)	▲ 2.2 (4.3)	・ 前期比6.5ポイント減少 ↓
業 況	(前期比)	▲ 10.8 (▲ 12.8)	・ 前期比2.0ポイント増加 ↑
	(今 期)	▲ 26.9 (▲ 18.1)	・ 前期比8.8ポイント減少 ↓
	(来期予測)	▲ 9.7 (▲ 1.1)	・ 前期比8.6ポイント減少 ↓
採 算	(前年同期比)	▲20.4 (▲11.7)	・ 前期比8.7ポイント減少 ↓
	(来期予測)	▲22.6 (▲17.0)	・ 前期比5.6ポイント減少 ↓
設備投資	(実施した割合)	22.6% (25.5%)	・ 前期から2.9ポイント減少 ↓
従 業 員	(過 剩)	5.4% (3.2%)	・ 前期から2.2ポイント増加 ↑
	(不 足)	39.8% (35.1%)	・ 前期から4.7ポイント増加 ↑

## 2-1. 前期比-売上DI値の推移

- 全国・東北でマイナス幅がほぼ横ばい
- 管内はプラスからマイナスに

※売上DIは「増加」企業の割合から「減少」企業の割合を引いた値

調査期間	2021年度		2022年度				2023年度		前期比増減
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	
全国DI値	▲ 18.5	▲ 23.5	▲ 7.7	▲ 13.9	▲ 16.4	▲ 6.6	▲ 4.6	▲ 4.9	▲ 0.3
東北DI値	▲ 21.8	▲ 23.3	▲ 13.2	▲ 17.2	▲ 20.4	▲ 10.6	▲ 5.9	▲ 5.8	0.1
管内DI値	0.0	▲ 53.2	▲ 9.6	▲ 17.4	3.3	▲ 24.7	4.3	▲ 2.2	▲ 6.5

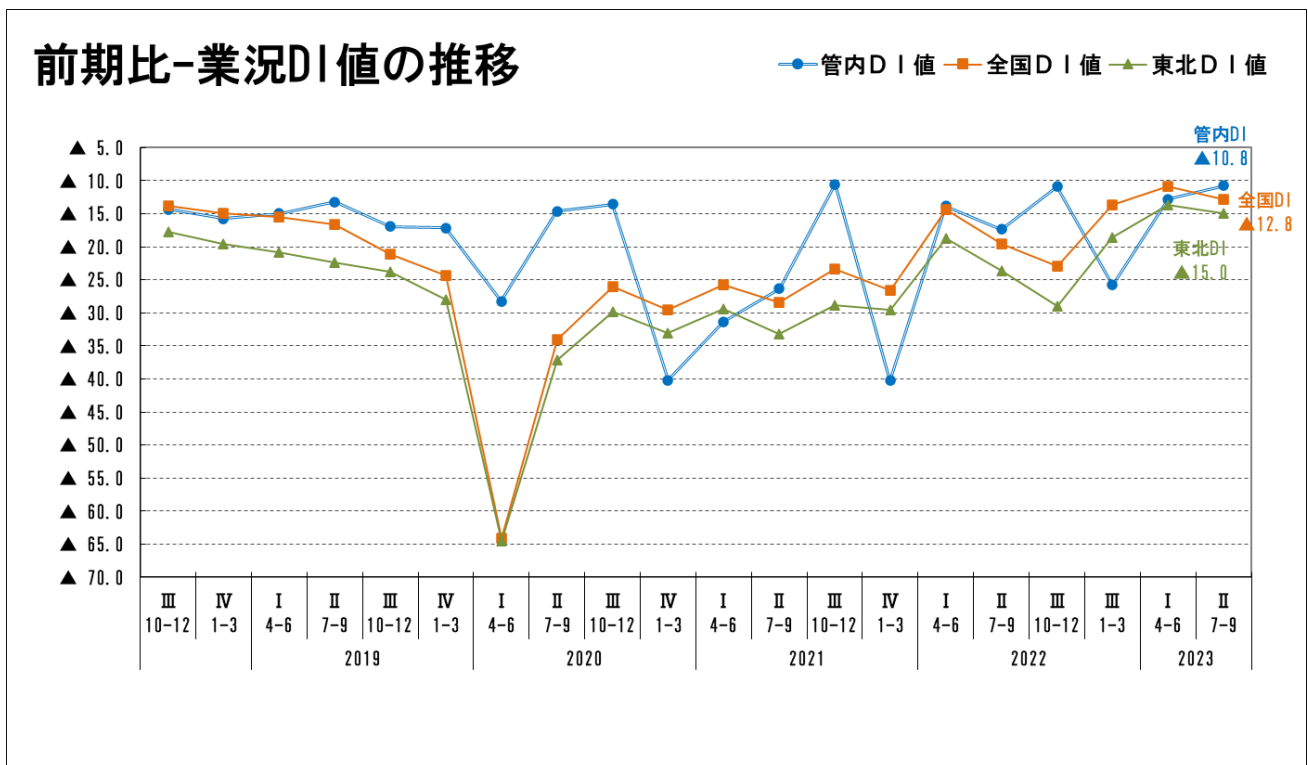


## 2-2. 前期比-業況(自社)DI値の推移

- 全国・東北でマイナス幅がやや拡大
- 管内はマイナス幅がやや縮小

※業況DIは景気が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値

調査期間	2021年度		2022年度				2023年度		前期比増減
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	
全国DI値	▲ 23.3	▲ 26.6	▲ 14.4	▲ 19.5	▲ 22.9	▲ 13.7	▲ 10.8	▲ 12.8	▲ 2.0
東北DI値	▲ 28.9	▲ 29.6	▲ 18.7	▲ 23.7	▲ 29.0	▲ 18.6	▲ 13.6	▲ 15.0	▲ 1.4
管内DI値	▲ 10.5	▲ 40.3	▲ 13.8	▲ 17.4	▲ 10.9	▲ 25.8	▲ 12.8	▲ 10.8	2.0

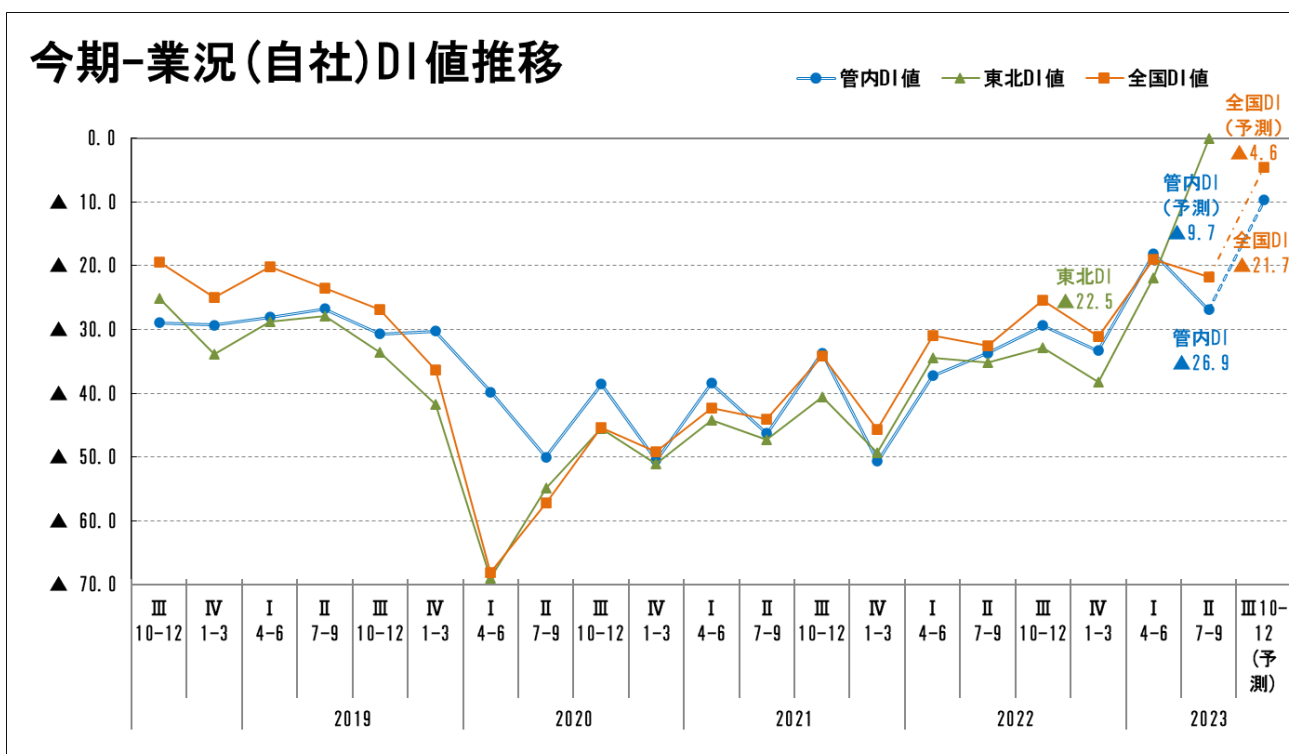


## 2-3. 今期-業況(自社)DI値の推移

- 全国・東北・管内全てでマイナス幅が拡大
- 来期予測は、全国・管内いずれも改善へ

※業況DIは景気が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値

調査期間	2021年度		2022年度				2023年度		
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月 (予測)
全国DI値	▲ 34.1	▲ 45.6	▲ 30.9	▲ 32.5	▲ 25.4	▲ 31.1	▲ 19.0	▲ 21.7	▲ 4.6
東北DI値	▲ 40.6	▲ 49.3	▲ 34.4	▲ 35.2	▲ 32.9	▲ 38.2	▲ 21.9	▲ 22.5	
管内DI値	▲ 33.7	▲ 50.6	▲ 37.2	▲ 33.7	▲ 29.3	▲ 33.3	▲ 18.1	▲ 26.9	▲ 9.7

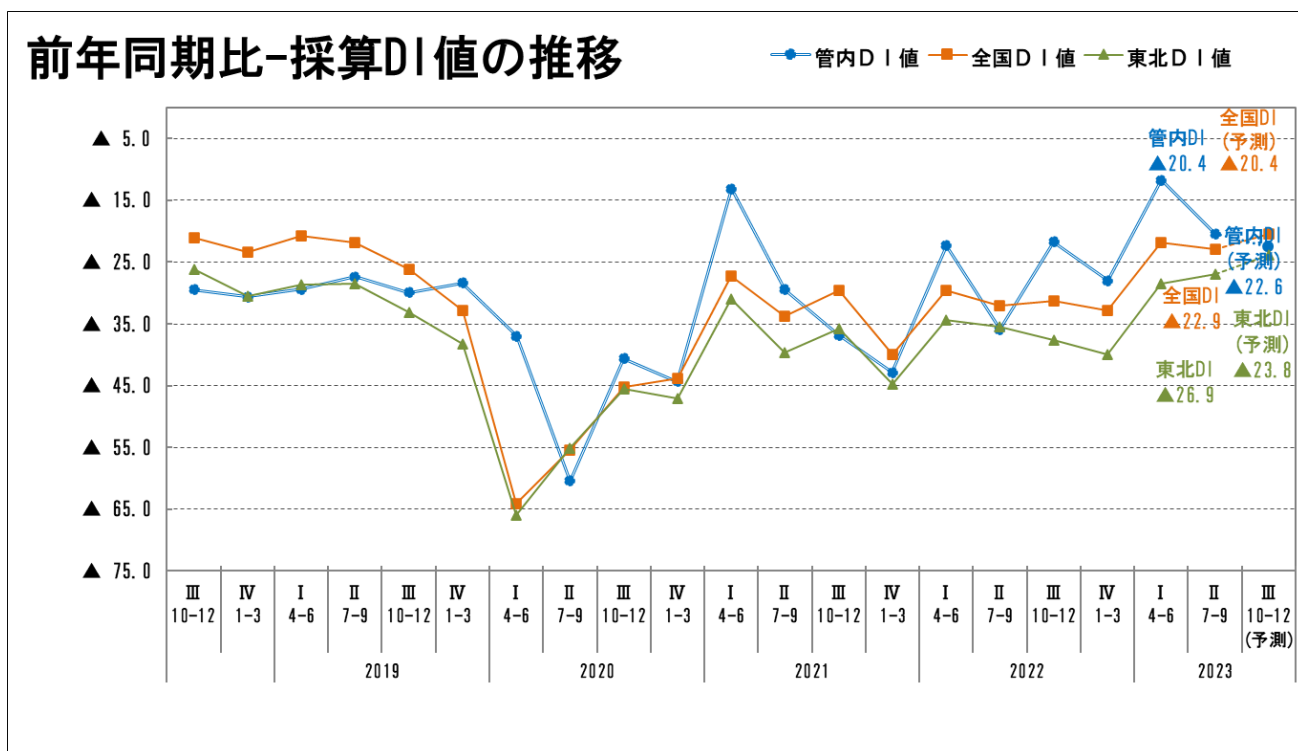


## 2-4.前年同期比-採算(経常利益)DI値の推移

- 全国・管内でマイナス幅が拡大
- 来期予測は、全国・東北はやや改善へ

※採算DIは、「黒字」企業の割合から「赤字」企業の割合を引いた値

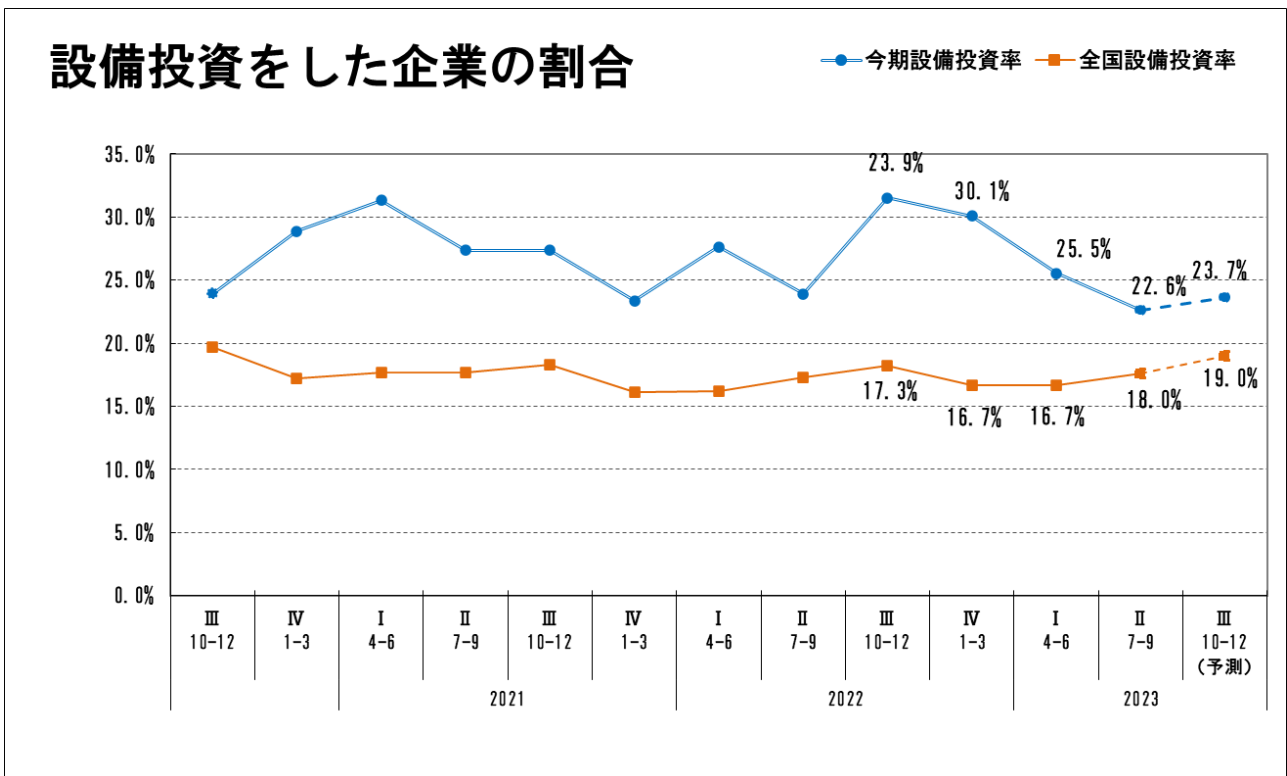
調査期間	2021年度		2022年度				2023年度		
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月 (予測)
全国DI値	▲ 29.6	▲ 39.9	▲29.5	▲32.0	▲ 31.3	▲ 32.9	▲ 21.9	▲ 22.9	▲ 20.4
東北DI値	▲ 35.7	▲ 44.8	▲34.3	▲35.5	▲ 37.7	▲ 39.9	▲ 28.5	▲ 26.9	▲ 23.8
管内DI値	▲ 36.8	▲ 42.9	▲22.3	▲35.9	▲ 21.7	▲ 28.0	▲ 11.7	▲ 20.4	▲ 22.6



# 3. その他

## 3-1. 設備投資

- 管内で設備投資を行った企業は、実施企業数 21 社、22.6% で減少（前期：実施企業数 24 社、25.5%）
- 来期の設備投資予定は、やや増加へ



### ※設備投資内訳(今期・来期)

■今期設備投資を実施した企業の主な各投資項目を実績ベースで見ると「車両・運搬具」が7件、「OA機器」が5件、「建物・店舗」、「各種設備」、「付帯施設」がそれぞれ4件で、合計は31件となった。（前期32件）

■来期の設備投資見込みは、「各種設備」、「車両・運搬具」への投資予定が多く、合計30件が見込まれている。

複数回答 単位：件

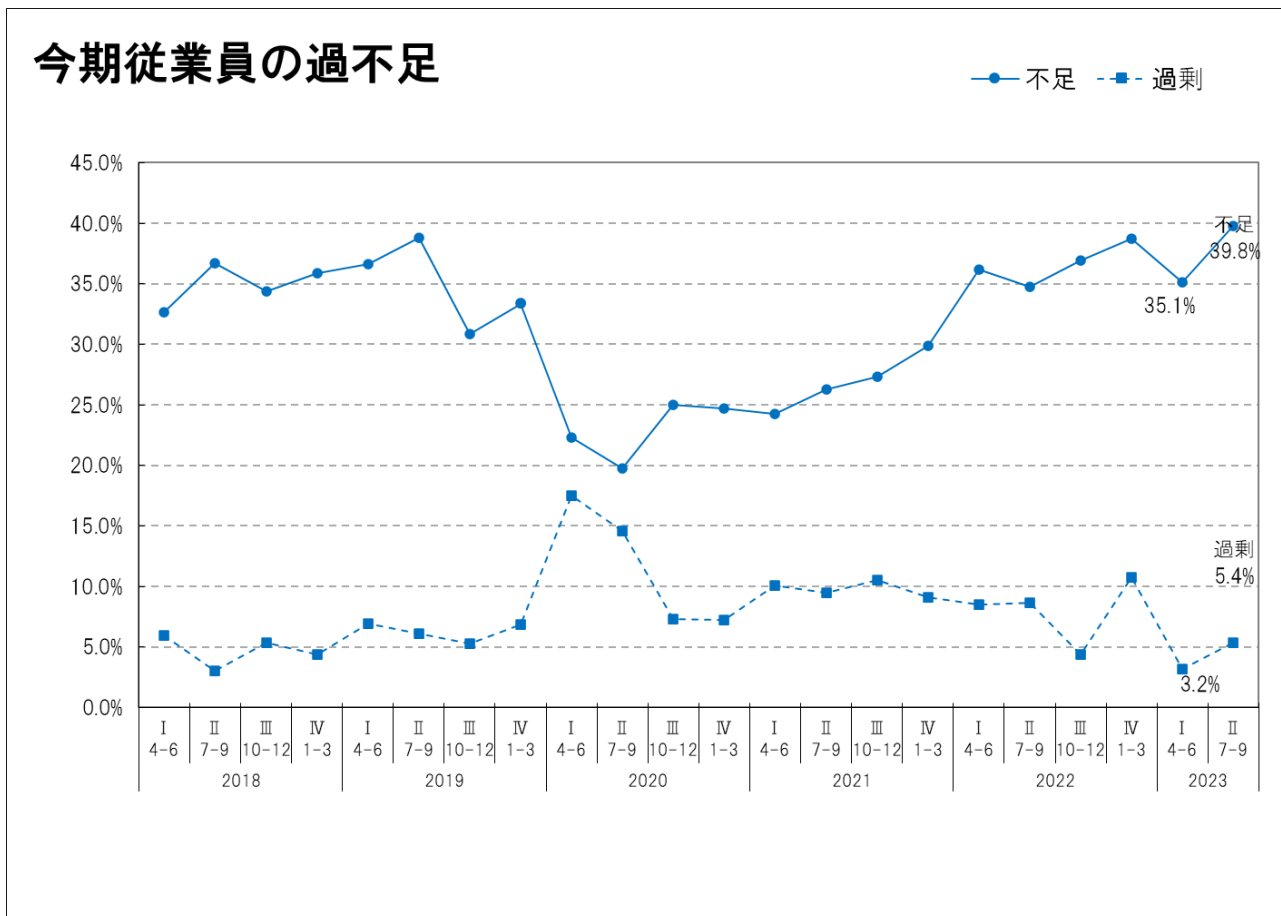
全業種計	土地	建物・店舗	各種設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	業種計
今期	1(1)	4(5)	4(6)	7(8)	4(5)	5(4)	1(0)	5(3)	31(32)
来期	0(0)	4(5)	9(9)	9(8)	1(3)	5(5)	1(1)	1(3)	30(34)

※カッコ内数字は前回調査(2023年4-6月)分。各種設備は生産設備、販売設備、サービス設備、倉庫設備等



## 3-2. 今期従業員の過不足

- 不足は前期 35.1%から今期 39.8%に増加
- 過剰は前期 3.2%から今期 5.4%に増加



### ※今期従業員の過不足 業種別内訳

業種	有効回答 事業所数	過剰		適正		不足	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
製造業	22	4	18.2%	11	50.0%	7	31.8%
建設業	13	1	7.7%	4	30.8%	8	61.5%
卸売業	15	0	0.0%	8	53.3%	7	46.7%
小売業	21	0	0.0%	18	85.7%	3	14.3%
サービス業	22	0	0.0%	10	45.5%	12	54.5%
合計	93	5	5.4%	51	54.8%	37	39.8%

### 3-3. 直面している経営上の問題点(今期・前期)

#### 【上位課題】

##### 原材料価格・材料価格の上昇

前回調査に引き続き、「原材料価格」・「材料価格」の上昇が製造業、建設業における最上位課題となっている。

##### 仕入単価の上昇

前回調査に引き続き、「仕入単価の上昇」が卸売業・小売業における最上位課題となっている。

##### 従業員の確保難

サービス業において継続として最上位課題となっているほか、製造業、建設業、卸売業でも上位課題となっている。

※上位3つまでを記載

業種	第Ⅱ期 (2023年7-9月)		第Ⅰ期 (2023年4-6月)	
製造業	→ 1位	原材料価格の上昇	1位	原材料価格の上昇
	↑ 2位	従業員の確保難	2位	原材料費・人件費以外の経費の増加
	→ 3位	人件費の増加	3位	人件費の増加
建設業	→ 1位	材料価格の上昇	1位	材料価格の上昇
	↘ 2位	従業員の確保難	1位	従業員の確保難
	↘ 3位	官公需要の停滞	2位	官公需要の停滞
卸売業	→ 1位	仕入単価の上昇	1位	仕入単価の上昇
	↗ 2位	従業員の確保難	2位	人件費以外の経費の増加
	↑ 3位	人件費の増加 販売単価の低下・上昇難	3位	従業員の確保難
小売業	→ 1位	仕入単価の上昇	1位	仕入単価の上昇
	↑ 2位	店舗の狭隘・老朽化	2位	従業員の確保難
	↑ 3位	需要の停滞	3位	消費者ニーズの変化への対応
サービス業	→ 1位	従業員の確保難	1位	従業員の確保難
	↗ 2位	需要の停滞	2位	材料等仕入単価の上昇
	↘ 3位	材料等仕入単価の上昇	3位	需要の停滞

凡例・・・前期と比べて ↑: 上昇 ↓: 下降 →: 変動無 ↗: やや上昇 ↘: やや下降

## 3-4. 業界の動向に関する各社コメント

### 製造業

- ① 人材確保や不足から人口減少まで具体的な対策を正面から対応を！
- ② 原材料・エネルギーコスト上昇に伴う価格転嫁には応じていただけなくなった。ただし、業界の特性、脱ペーパーから、新規受注が伸び悩んでおり、売上高は横ばい状態。

### 建設業

- ① 仕事の量の減少による競争が増えた。不渡手形等のリスクが増えると思われる。
- ② 若年層の人材確保難。業界内の高齢化問題。公共下水道普及による仕事量の減少。

### 卸売業

- ① コロナ直後の活動により商品が動いているが、生産が追いつかず供給不足となる。
- ② 求人応募が少なく人手不足感がある。
- ③ 仕入単価上昇傾向、販売数量減少。
- ④ 仕入価格は上がり、光熱費・ガソリン代の上昇もあり、売上額が去年より増加しても、なかなか利益が上がらない。
- ⑤ 猛暑による、さらなる電気代負担増に燃料代高騰と経費増加。

### 小売業

- ① 年初からのメーカー出荷増が続いており、売上・利益ともに好調維持だが整備職不足に課題あり。

### サービス業

- ① ホテル数が多い中で需要の低下が出ている。ハーフマラソンなどイベントが増えた部分はあるが大  
会などが減っている印象。
- ② 人手不足。